

30 秋田県立大曲農業高等学校 中期ビジョン（5か年計画）

「本校が目指す姿」

I 学校の現状と課題

【学校の現状】

明治26年に秋田県初の農業高校として開校した本校は、これまで様々な分野に3万人を超える人材を輩出してきました。現在、農業科学科、食品科学科〔フードサイエンス専攻、フードビジネス専攻〕、園芸科学科〔フラワークリエイト専攻、バイオテクノロジー専攻〕、生活科学科〔ヒューマンサービス専攻、ライフデザイン専攻〕の4つの学科において、各専門分野における基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、地域社会の発展に寄与する人材の育成を行っています。

現在の学科体制になってから、女子の割合が6割ほどに増え、卒業後の進路もより多様になりました。進路は進学と就職がほぼ同じ割合で、特に県内就職者の割合が高いことが特徴ですが、非農家出身の生徒が約半数と多く、農業後継者を目指そうとする生徒が少ない状況です。また、大嶋農場の畜舎など老朽化が進んでいる施設・設備もあり、今後、実習への影響が心配されます。

【課題】 ⇒ 対応の方向性

- 1 少子化にともなう生徒数の減少
⇒ 農業高校としての特色を生かした学校づくりと積極的な情報発信による定員確保
- 2 農業基盤の構造変化にともなう農業後継者の減少
⇒ 就農啓発活動と新規就農者としての出口づくり
- 3 農業高校としてのさらなる学びの充実
⇒ P D C Aサイクルによる教育活動の改善・充実と新しい技術への対応

II 学校を取り巻く将来の状況の予測

- 1 少子化と農業従事者の高齢化が加速し、経営の大規模化・法人化が求められます。
- 2 A IやI o TなどI C Tを農業分野に活用したスマート農業の導入が急がれます。
- 3 安全で安定的な食糧生産確保のため、G A PやH A C C Pの認証取得が必要になります。
- 4 社会的環境変化に柔軟に対応する経営者を育成し、新しい価値の創造に取り組もうとする人材を育てる必要があります。
- 5 歴史と伝統ある学校として、不易の価値を受け継ぎ、未来へ飛躍する地域のリーダーを輩出することが求められます。

III スクール・ポリシー

- 1 グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）
 - (1) 質実剛健
 - ・教育活動全体を通して、健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を養います。
 - ・体験活動を充実させ、豊かな心や創造性の涵養を目指します。
 - ・農業クラブ活動や部活動を活性化し、全国大会等を目指します。
 - (2) 実践躬行
 - ・主体的に取り組む態度と確かな学力を身に付けられるよう、授業改善を図ります。
 - ・課題発見力と課題解決力を養い、実践力を身に付けられるよう、研究活動の充実を図ります。
 - ・多様な能力を伸ばすとともに各種技能を身に付けられるよう資格取得を推進します。

(3) 人格陶冶

- ・ 道徳教育を推進し、生命や人権を尊重する心を養います。
- ・ 持続可能な循環型社会の実現に向けた、農業教育と環境教育を推進します。
- ・ 安全、安心な食料の生産と供給に対応できる農業教育を推進します。

(4) 勤労愛農

- ・ 地域に貢献する意識の向上を目指し、地域や地元企業との連携を強化します。
- ・ 地元への就職や進学に強い学校として、地域からの信頼を高めます。
- ・ 地域の活性化に貢献し、地域に愛され、必要とされる学校を目指します。

2 カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

- (1) 各専門分野の体験的な学びと生徒主体の研究活動を積極的に展開します。
- (2) ICTを積極的に活用し、スマート農業などの新技術に関する学びを行います。
- (3) 外部の専門人材などの地域の教育資源を活用した学びを行います。
- (4) 「科学性」「社会性」「指導性」の向上を目標とした農業クラブ活動に取り組みます。
- (5) 学校行事などの特別活動や部活動なども含めた全ての教育活動を通して、チームワーク力、規律性、チャレンジする力などの社会人基礎力を育みます。

[農業科学科]

作物、果樹、野菜、畜産、林業などの専門的な知識と技術を、様々な体験を通して主体的に学びます。

[食品科学科]

食品の製造や流通、衛生管理などの専門的な知識と技術を、様々な体験を通して主体的に学びます。

<フードサイエンス専攻>

食品の製造や衛生管理等に関する専門的な知識と技術を深く学びます。

<フードビジネス専攻>

販売等に関する専門的な知識を、地域内外での販売活動を通して深く学びます。

[園芸科学科]

人と地域の生活の質の向上に関わる園芸の専門的な知識と技術を、様々な体験を通して主体的に学びます。

<フラワークリエイト専攻>

花の栽培やフラワー装飾に関する専門的な知識と技術を深く学びます。

<バイオテクノロジー専攻>

組織の摘出や培養などに関する専門的な知識と技術を深く学びます。

[生活科学科]

環境に配慮した生活の創造や地域の活性化に向けた専門的な知識と技術を、様々な体験を通して主体的に学びます。

<ヒューマンサービス専攻>

福祉（介護・保育）等における農業と関連した専門的な知識と技術を深く学びます。

<ライフデザイン専攻>

調理・被服等における農業と関連した専門的な知識と技術を深く学びます。

3 アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

本校は、校訓「質実剛健」「実践躬行」「人格陶冶」「勤労愛農」の下、農業教育を通じて豊かな感性と人間性を育み、社会や時代に即応する人材を育成することを教育目標としている。また、生徒一人一人が自ら深く考え、行動・実践できる力の育成を図っている。

以上のことから、次の1～4に当てはまる生徒を求める。

- 1 心身ともにたくましい生徒。
- 2 主体的・実践的に行動する生徒。
- 3 生命を大切にする生徒。
- 4 郷土を愛し、地域に貢献する生徒。

5年間を通しての具体的な目標と取組

I 5年間を通しての具体的な目標

1 質実剛健

- ・1か年皆勤者 50%以上
- ・部活動加入率 各学年80%以上
- ・全国大会レベル出場部活動数 5つ以上
- ・農業系大会全国大会入賞 3組以上

2 実践躬行

- ・国立大学進学者 7名以上
- ・専門性を生かした進学 20%以上
- ・公務員合格者 10名以上

3 人格陶冶

- ・道徳教育全体計画の充実と実践
- ・あいさつや基本的な生活習慣の定着
- ・地域の祭典や各種ボランティア活動への積極的参加
- ・循環型農業・再生エネルギーの創出
- ・秋田県版GAPやHACCP認証の取得
- ・SDGs（生命と環境に関わる分野）に関する取組の推進

4 勤労愛農

- ・外部機関との連携及び外部講師の活用 年間35回以上
- ・秋田の多様な資源（食料・森林・観光等）を活用する研究の推進
- ・県内就職率 90%
- ・研究成果の普及
- ・「あきたECOライス」での全量出荷
- ・地域の防災の拠点としての体制整備

II 目標を達成するための具体的な方法、取組等

1 質実剛健

- ・健康教育の充実と皆勤賞表彰
- ・部活動の充実
- ・プロジェクト研究の推進
- ・指導者の研修や体制づくり
- ・学校行事を通じた企画力、調整力の育成
- ・個に応じた指導と支援の充実

2 実践躬行

- ・進学・公務員希望者の早期からの計画的、系統的な指導
- ・企業紹介、インターンシップ、就農啓発事業等の充実と体系化
- ・高校を核とした産学官連携の推進
- ・アグリマーケティングハウスの活用
- ・学校間連携の推進
- ・保育園、介護施設実習の実施

3 人格陶冶

- ・農業教育を通じた生命の授業
- ・相手を尊重する言葉や態度の育成
- ・家庭と協力した生活習慣指導
- ・除雪や大曲の花火などのボランティア活動
- ・学校林での体験学習や田沢湖の水質改善活動

4 勤労愛農

- ・地元企業等との連携の充実
- ・地域や卒業生とつながる事業の展開
- ・農業科学館ナビ検定への取組
- ・サキホコレの栽培とデータ収集・提供
- ・学校の取組をPRするHPの工夫
- ・地域と連携した防災教育の充実